

年々歳々2005京都青年団体会議

2月19日 於 ウェスティン都ホテル京都

(有)飛永製作所 飛永 敏博

「年々歳々2005京都青年団体会議」が開催されました。お忙しい中、多くの会員の方にご参加いただきましてありがとうございました。

午後1:00からの第1部「無ごみ(なごみ)ウォーク」では一般参加の親子づれの方も多数参加され、京都青年団体会議が年を重ねることに大きな広がりを持って来たことを改めて感じました。空模様が心配されましたが、なんと「無ごみウォーク」が開催された1時間だけ雨が上がり一年間実行委員会の方が準備をされてきたその熱意が伝わったかのようなようでした。参加してくれた機青連の仲間からは「最初はゴミ拾いなんて...と思いながら歩きはじめたがそのうち必至になってゴミを拾っている自分がいた」とか「祇園花見小路なんて昼間歩くことがないのでちょっとした旅行気分やね」という声もありました。それにしても、環境・観光都市京都なのに「タバコの吸殻」が多いのには驚きました。家に持って返れないゴミ(?)も花街には多く落ちていました。(^^)

午後6:00からの第1部「5周年記念式典・懇親交流会」では今までの5年間の歴史の中で、京都の青年15団体から実行委員として共に苦労してこられた方々の再開を喜ぶ顔があちこちで見受けられ団体の規模や活動内容の枠を超え、ひとつの目標に向かって時間を過ごされた方がいつまでもつながっていることを改めて実感しました。

京都青年団体会議がこれからも引き続き開催され、京都の青年団体が上下関係ではなく横に広がり続けていくことがこれからの京都活性化の基盤になるのではないのでしょうか。

機青連から本年度実行委員として出向していただいた高木さんは総務班長として連日の作業で超寝不足の中、責任感と使命感がいっぱいで他団体方の先頭にたって陣頭指揮をとっていただきました。5周年記念植樹、知事との和い和いミーティング、そして代表者サミットの準備責任者として渉外活動をはじめ、一步先を読んだ段取りの良さが光っていました。高畑さんは1部の「無ゴミウォーク」のコース図を何度も何度も書き直し完璧なものを完成してくれました。また、懇親会のアトラクションでは「私設応援団」として今年の実行委員会の力強さをアピールし会場を一体感でにつつんでくれました。当日の運営を手伝ってくれた吉岡さん、江森さん、加納さん急なお願いにも関わらず快く引き受けてもらってありがとう！

ご参加・ご協力頂いたみなさまと実行委員として出向して頂いた3人のおかげを持ちまして他団体の方々にも機青連を広く知っていただくことができ、無事にそして盛大に今年の京都青年団体会議を開催することができました。みなさま、ほんとうにありがとうございました。

